



# ふくろう通信

第39号

2015年10月1日  
自然博物園 ねいの里

ふくろう先生に  
聞いてみよう!

## 「ねいの里を5感で楽しむ」

ねいの里自然塾の会会長 石澤 岩央

もう10年も前になるだろうか。視覚障がい者の方とねいの里にご一緒したことがある。どう案内すればよいかいろいろ考えたのだが、結局、5感のうち4感で自然に触れてもらおうということになった。じゃあなぜ5感?それは読んでのお楽しみ。

1. **聴く** もちろん一番のお勧めは鳥のさえずりだ。しかしながら時は秋。ホオジロとウグイスぐらい。ウグイスの地鳴きはさえずりとのギャップが驚きのようなだった。
2. **触る** まあまあ評判の良かったのは、ガマズミの仲間の当てっこゲーム。ミヤマガマズミの葉はつるつる、コバノガマズミはビロード状、ガマズミはがさがさ。これを説明したあと「ではこれは何ガマズミ」と問う。ご褒美はもちろんあの酸っぱい果実だ。ゲームはまあまあだったが、ご褒美はどれも今一だったようだ。
3. **嗅ぐ** 香りと言えばクスノキ科だが、他にはレモンの香りもねいの里には多い。マルバアオダモの翼果は薄いレモンの香りがする。ほかにも、エゴマ（レモンエゴマなどが交雑しているようだ）、ウシクグなどにもレモンの香りがある。



(マルバアオダモ)



(エゴマ)



(ナツハゼ)



(ヤブマメの地中果)

4. **味わう** 最も評判が良かったのはやはり食べることだ。ブルーベリーの仲間がねいの里には2つある。黒い実のナツハゼと赤い実のアクシバ。他にもヤマノイモのむかご、珍しいところではヤブマメの地中にできる豆(※1)もまざまず。先のガマズミ類も、のがせない味だ。

花・シダを見ることばかりの私は、どうしても視覚に頼りすぎており、良い勉強をさせてもらったと思っている。見ることに加えその他の「4感」を研ぎ澄まし、森の息吹を感じとる**第6感?**を働かせることができれば、ねいの里を10倍に楽しめることは間違いないのだが、私はまだまだ修行が足りないようだ。

(※1)

ヤブマメは地上部には開放花を咲かせて実を付けます。サヤの中には通常2～3個の豆が入っています。

また、地中には閉鎖花による1個だけ豆が入った実を付けるという不思議な植物です。



## 「有峰の自然を探る・アサギマダラ調査」

平成 27 年 9 月 5 日 (土)



今年は 12 名のジュニアナチュラリストが参加して、アサギマダラのマーキング調査を有峰で行いました。

まず、白樺ハイツ下の坂道でカモシカの出迎えがあり、ダム of 堰堤上を通るときは飛び立つイワツバメの大群にビックリ!!!。

東谷コース (8 人が参加) は数が少なく、11 頭しかマーキングできなかったが、トチの実やブナの実も観察し、冷夕谷休憩舎付近でキノコの観察もしました。

折立コース (2 人が参加) でも数が少なく 7 頭のマーキングでしたが、ニホンザルを見ることができました。

祐延コース (2 人が参加) では 75 頭もマーキングができました。

去年は再捕獲されませんでしたでしたが、今年は再捕獲されればいいなーと願っています。



(東谷コースの様子)  
必死で探しますが  
いないなあー

## 「材木坂・美女平の観察に参加して」

平成 27 年 9 月 23 日 (日)

ジュニアナチュラリスト 森 修也

残暑もなく足早に訪れた秋空のもと、私は自然塾の会の皆さんと材木坂～美女平の自然観察会に参加しました。

歩き始めて、まず目に飛び込んだのは大きな岩の数の多さでした。ここは昔、資材運搬のために使われ「ボッカ道」といわれていたこともあるそうです。立山ボッカが、この踏み跡も定かでない道を荷物をかついで登ったのには大変な苦勞があったのだろうと思いました。

今日のリュックはボッカよりはるかに軽い荷物ですが、私にとってはかなりきつい坂道でした。しかし、その中でも たくさんの発見や観察をすることができました。

たわわに実った真っ赤な果実…ツチアケビもありました。この植物は、漢方にも使われており、強壮や利尿にも効果があると教えてもらいました。また、アサギマダラも見かけました。秋になると山でよく見ることができるチョウですが、今日は「これに乗って美女平まで行けたらいいのに」とも考えたりしました。このほかにも、クマの足跡や野鳥の羽も見つけました。

5 時間ほどの行程でしたが、どの発見もとても印象的でした。ケーブルに乗らずに歩くコースも悪くないと思いました。



(ツチアケビの実)



(新しい熊の足跡?)

## 「葉っぱで作る虫クラフトに参加して」

平成 27 年 9 月 28 日 (月)

富山県自然解説員 草野 和子

シュロの葉でバッタを作る講習会に参加しました。始めは、シュロの葉を裂いたり折り曲げたりするコツがつかめず苦心しましたが、山下ちか子先生や周りの方に教わりながら三匹のバッタを完成させることができました。そのバッタをシランの葉につかまらせると、今にもジャンプしてくるかのように見えます。感動と喜びがいっぱいの一と時でした。





# 活動のふりかえり

(2015.7~9月)

(2015.7.4,11) 竹細工とヘイケボタル観賞



蛍の発生ピークは過ぎていたのが残念。竹細工が好評でした。

(2015.8.8) 夜の昆虫大探検 PART1



虫トラップや光トラップに集まる虫を観察。カブトやクワガタのプレゼントに大はしゃぎ。

(2015.9.5) 有峰の自然を探る・アサギマダラ調査

今年認定のジュニアも6人参加して実施しました。連日雨模様で心配しましたが、5日は天気に恵まれました。(詳しくは本文で)

(2015.9.12) 夜の昆虫大探検 PART2



暗い林で虫の鳴き声を鑑賞したり探したり。ウマオイを見つけた人がいて、写真をパチリ。

(2015.9.23) 立山材木坂・美女平の自然観察



通常1時間半程の材木坂を2時間40分かけて登りました。美女平ではクマの足跡やアケボノシュスランがありました。



(2015.9.28) 葉っぱで作る虫クラフト



行事予定には無かったのですが葉っぱでバッタを作る講習会を行いました。ショロの葉で作ったバッタは今にも飛び跳ねそうな出来栄。

## 豆知識

## ねいの里の秋の七草(七種)

「萩のはな 尾花 葛花 瞿麦(なでしこ)の花 姫部志(をみなえし) また藤袴 朝貌の花」

秋の七草(七種)は、奈良時代の歌人[山上憶良]が詠んだ2首の歌が由来とされています。

● 萩(はぎ)



ハギ

万葉集で最も多く詠まれていて、142例ほどあります。多くが秋萩と詠まれています。

● 尾花(おばな)



ススキ

万葉集にはススキ、尾花、カヤで読まれています。尾花は花穂が馬の尾に似ているから。カヤは茅葺屋根など材料にする呼び名。

● 葛(くず)



クズ

太い根から良質の澱粉[くず粉]が採れ、和菓子や料理に利用されます。アメリカでは日本から持ち込まれた外来植物として駆除対象に。

● 撫子(なでしこ)



カワラナデシコ

歌の中では瞿麦となっています。中国から渡来した瞿麦[クバク]をナデシコのことだと思い瞿麦にナデシコの名を当てたもの。後に瞿麦が別の植物だと分かり、撫子[ナデシコ]に変えました。花期が他のものより早く、一緒に見るのは難しい。

● 女郎花(おみなえし)



オミナエシ

近年見かけるのは白い花のオトコエシばかり。自生のものはめったに見ることができなくなりました。

● 藤袴(ふじばかま)



フジバカマ

花期が遅い。ここに載せた7種は8月13日の撮影ですが、フジバカマはまだ蕾が硬かった。

● 桔梗(キキョウ)



キキョウ

歌の中では[朝貌の花]となっており、朝顔、木槿(ムクゲ)、桔梗、昼顔など諸説あるが、桔梗とする説が最有力。



## 季節の歩み



### 7月

7月中頃にオオガハスが咲き始めました。8月初旬に見頃となり、8月いっぱい楽しみました。写真愛好家の方がたくさん撮影にられました。



### 8月

炎天下で白い花を咲かせ甘い香りを漂わせていたクサギは、9月下旬に見事に変身しました。苞が赤く染まり、まるで赤い花が咲いたようです。赤い苞の中には宝石のように美しいブルーの実が。



### 9月

今年はキノコが豊作。イグチの仲間があちこちに大発生。食用のヌメリコウジタケも大収穫。これは10月のキノコ行事でキノコ鍋へ。

## ねいの里行事案内

(ねいの里ホームページで活動紹介しています。)

- 10月 4日(日) 「キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ」 集合場所：ねいの里  
10:00 ~ 12:00 (キノコ鍋の試食 300食、1杯 200円)
- 11月 7日(土) 「巣箱を作ろう」 集合場所：野鳥の園(古洞の森自然活用村)(定員 30組)  
9:30 ~ 12:00 巣箱作りの後、野鳥観察
- 11月 29日(日) 「クリスマスリース作り」 集合場所：ねいの里(定員 30組、材料費 100円)  
9:30 ~ 12:00 持ち寄った材料でクリスマスリースを作る
- 12月 20日(土) 「正月飾り作り」 集合場所：ねいの里(定員 20組、材料費 300円)  
9:30 ~ 12:00 ねいの里で集めた材料で正月飾りを作る

(参加希望者はねいの里までお申し込み下さい。)

### ■ 企画展

9月 2日 ~ 11月 24日 ねいの里キノコ写真展  
11月 25日 ~ 3月 31日 ネイチャーフォト展  
12月 9日 ~ 1月 18日 春の七草実物展

### ■ お願い ■

- 「ふくろう通信作成への協力をお願い」  
日頃思っていること、人に話したいことを「ふくろう通信」に載せてみませんか。皆さんからの投稿をお待ちしています。
- 会員の駐車場利用について  
会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラルリスト駐車場を利用来ます。



発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 富永 宣宏  
〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住 1-1  
Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp  
ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>